

# 大阪駅北地区まちづくり基本計画

《概要版》

平成16年7月

大 阪 市

# まちづくりの基本方針

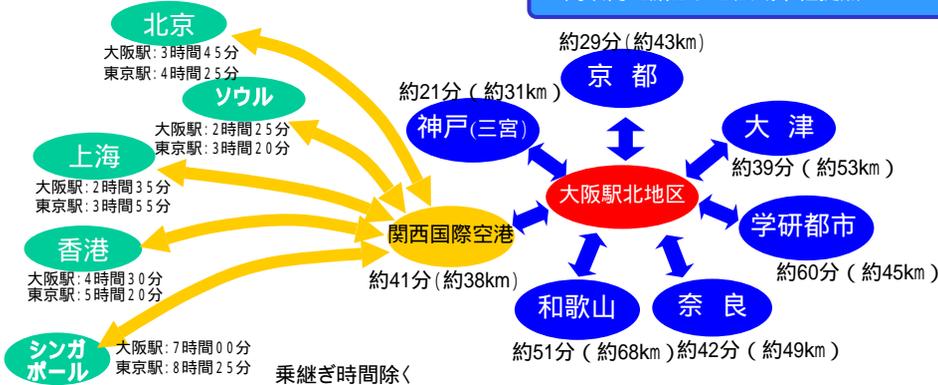
## 《大阪駅北地区のポテンシャル》

### 世界につながる

JR東海道線支線の地下化や新駅設置を図ることにより、関西国際空港とのアクセスを強化し、東アジア経済圏との交流に対する優位性を確保

### 関西の広域中枢拠点

都市間鉄道により、関西主要都市と1時間以内で結ばれる広域中枢拠点

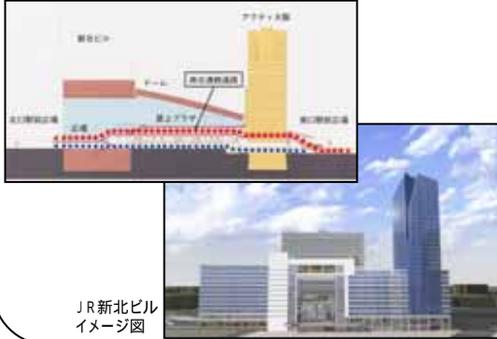


### 梅田を拡げる

JR大阪駅の改良計画とも連携し、周辺の開発拠点相互のネットワーク化を図り、大阪駅周辺の歩行者動線の回遊性・連続性を向上

### 「知」の結節点

関西に分布・集積する大学・研究機関や産業拠点等を選び、新産業・新技術の創出や情報発信を図る



## 《まちづくりの5つ柱》

### 世界に誇るゲートウェイづくり

アジア・世界へのゲートウェイをめざした国際的拠点としての機能強化と空間形成

- ・JR東海道線支線地下化・新駅設置による関西国際空港とのアクセス利便性の向上など、広域交通ターミナル機能の充実
- ・関西・大阪圏の玄関口として象徴的で風格のある駅前空間の創出
- ・国際的なビジネス拠点の形成 など

### 賑わいとふれあいのまちづくり

人々がまちに集い、賑わい、ふれあい、まちでの活動を楽しむことができるまちづくり、歩行者主体の空間形成

- ・賑わい軸における華やかで賑わいある空間の創出
- ・賑わいネットワークなどによる回遊性の高い歩行者動線ネットワークの形成
- ・人々の交流と賑わいの場を提供する都市機能の集積 など

### 知的創造活動の拠点(ナレッジ・キャピタル)づくり

新しい産業・技術、文化・価値を生み出し、関西から世界へ発信する知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成

- ・関西のシーズと世界の人材・知識の交流の場
- ・人の交流による新技術・産業・価値の創出の場
- ・市場ニーズの把握と開発・商品化のための交流・展示拠点 など

### 公民連携のまちづくり

まちの魅力の向上、効率的な運営管理をめざした公民連携による一体的なまちづくり

- ・公民協働による水・緑の景の創出や広場の空間形成
- ・公民連携によるエリアマネジメント組織 など

### 水と緑あふれる環境づくり

まちで活動する人々にやすらぎとゆとりを与える水と緑豊かな都市環境の創出

- ・シンボル軸における立体的な緑の空間と水のネットワークの主軸の形成
- ・ストーリー性のある水環境の創出
- ・多様な緑のネットワークに包まれたまちづくり
- ・賑わい軸における商業施設と一体となった木漏れ日のある緑の空間の創出 など

東アジア経済圏や関西圏などの国際・広域中枢拠点の形成

梅田地区の中核として、開発拠点間の連携強化を図り、周辺地域へ開発インパクトを波及  
《「大梅田地区」の形成》

# まちの骨格

御堂筋、四ツ橋筋等の既存の都市軸や、JR大阪駅を始めとした鉄道ターミナル、梅田、中之島等における各開発拠点等との連携を図り、広域的な市街地再生の波及するまちづくりをめざす

都市軸や開発拠点との連携を視野に入れながら、まちの風格づくりに資するため、新しく生まれるまちの骨格を形成

まちの骨格は、まちに異なった雰囲気や醸成する帯状の空間である2本の軸 - 「シンボル軸（南北軸）」と「賑わい軸（東西軸）」 - そしてまちへの誘いを呼びかけるスポット的な空間である広場（駅前広場）で構成

まちの骨格は、周辺地域とのネットワーク化を促し、人々が楽しく快適に回遊できるとともに、まちに活力や賑わいを創出する空間を提供



# 土地利用ゾーニングの考え方

都市再生のための拠点にふさわしい知識、活力、風格、文化、交流を生み出す土地利用をめざす

シンボル軸・賑わい軸に沿って、建築物の低層部には軸のイメージにふさわしい商業機能等を連続的に誘導

## 先行開発区域(東地区)

- ・大阪の玄関口としてふさわしい格の形成と将来の開発ポテンシャルの向上をめざす
- ・特に、新産業やビジネスを創出する知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の立地誘導

## 西地区

- ・国際的なビジネス拠点機能、広域防災や広域行政等の中枢機能の立地
- ・比較的大きな区画を活かした文化・交流機能の立地
- ・ナレッジ・キャピタル機能の拡充

先行開発区域  
(東地区)

## ゆとりのゾーン

- ・ゆとりある空間を形成
- ・オフィス、ホテル、住宅等

西地区

## ナレッジ・キャピタルゾーン(2)

- ・ナレッジ・キャピタル機能の拡充(文化・芸術含む)
- ・大学、大学院のサテライト等

楽しみながらまちを回遊できる建物用途を誘導

## ひろがりのゾーン

- ・国際的なビジネス拠点、広域防災や広域行政等の中枢機能
- ・文化、エンターテインメント、メディア等

## やすらぎのゾーン

- ・緑に囲まれ、静寂に包まれた都心型住宅や医療関連施設等

## よそおいのゾーン

- ・格調高い街並みを形成
- ・ハイグレードなホテルや住宅等

## ナレッジ・キャピタルゾーン

- ・新産業・ビジネスの育成
- ・研究・開発・学術機能、オフィス等

次世代ロボット  
研究開発拠点

## ふれあいのゾーン

- ・賑わい・交流の拠点を形成
- ・商業、オフィス等

## 駅前広場ゾーン

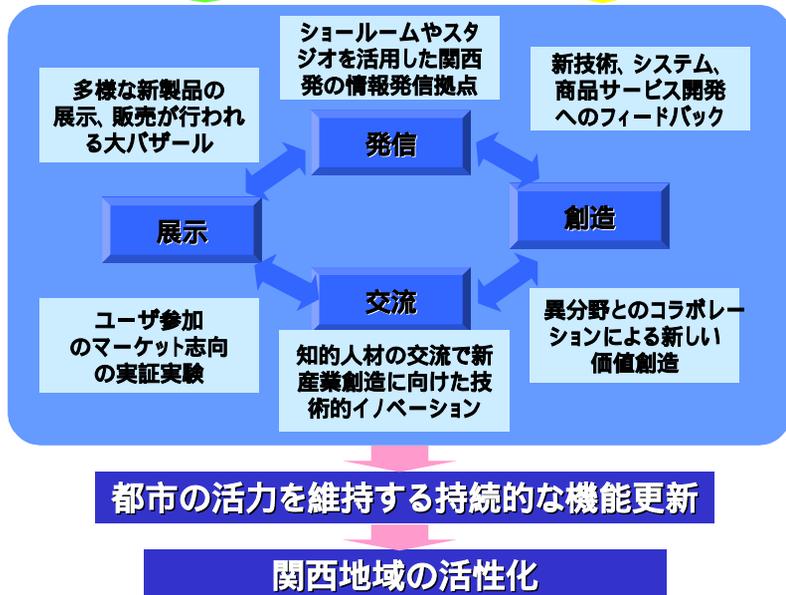
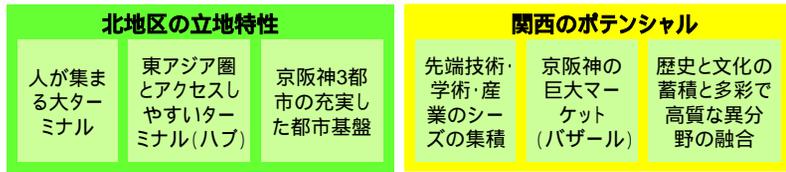
- ・大阪の新しい玄関口としてアメニティ豊かで象徴的な空間形成

# 知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成

国内外に誇れる人・知識が集積・交流する知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)を創り、関西を再生し、世界へ新しい大阪・関西ブランドを発信

多様な分野の研究者・企業・消費者等が交流し、ロボット産業をはじめ、次代の技術・産業や新ビジネス・商品の創造・発信拠点の形成をめざす。これをトリガーとし、文化・芸術等、幅広い学術・研究に携わる人たちの交流の場を創出

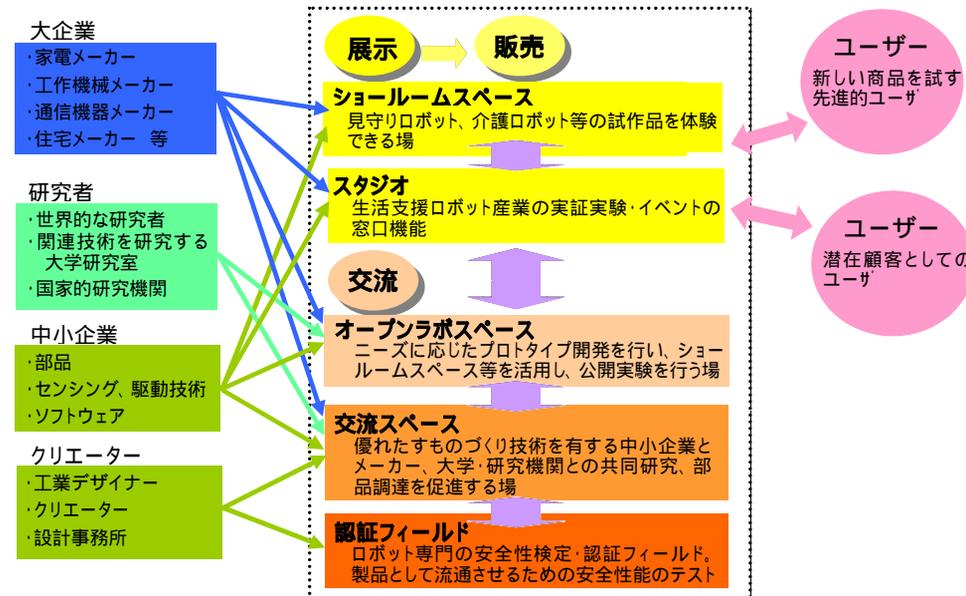
## ナレッジ・キャピタル構想の考え方



## ナレッジ・キャピタルの機能(イメージ)



## 次世代ロボット産業拠点のしくみ(イメージ)



# 歩行者主体の交通ネットワーク

地区を訪れた人々が歩いて楽しく、快適さを感じるまちとして、歩行者が主体の交通ネットワークの形成をめざし、地区内への車の流入を抑える

回遊性の高い歩行者ネットワークの形成を図る

## 快適な歩行者環境創出のための街路形成

- 南北線・東西線は、シンボル軸・賑わい軸にふさわしい通りとして、広幅員の歩道の確保、宅地と一体となった賑わいある空間形成、豊かな水や緑の創出などにより、歩行者主体の空間形成をめざす
- 快適な歩行環境を保つため、各街区への車の出入りは外周道路を利用する
- 南北幹線交通は、地区西端部に幹線道路を整備し、新御堂筋へ接続することにより円滑に処理



## JR東海道線支線の地下化

- 踏み切りの解消、幹線道路ネットワークの形成、地域分断の軽減を図るため、JR東海道線支線を地区中央へ移設・地下化を図る
- JR大阪駅に隣接して新駅を設置し、「はるか」「くろしお」等を停車させることにより、関西国際空港や和歌山方面とのアクセス機能を強化

国際的・広域的拠点としての機能の強化

# 水と緑のネットワーク

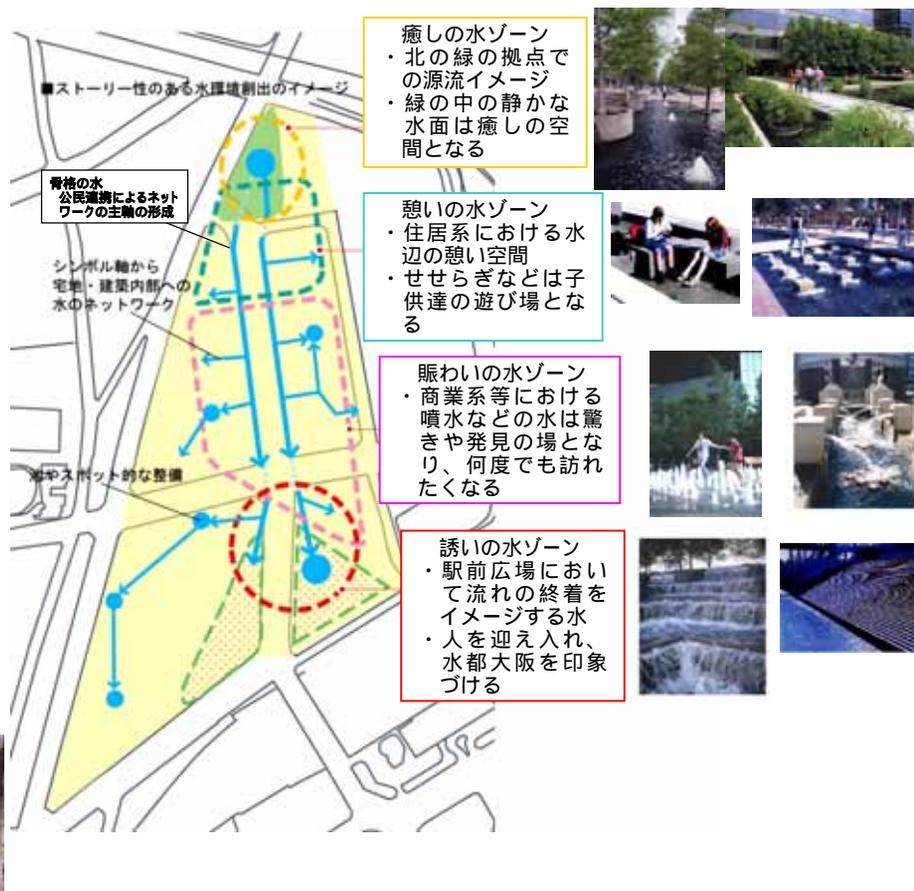
水都大阪を再生する水と多様な緑のネットワークにより、大阪の新しい顔となる個性的で魅力ある都市空間を創出

場所ごとの特性を活かしたストーリー性ある水と緑を公民一体となって創出  
都心における立体的な豊かな緑空間を形成

## 緑のネットワークづくりのイメージ



## 水のネットワークづくりのイメージ



# 都市空間形成の方針

## シンボル軸の空間形成

- ・ 広幅員の歩道空間と敷地内の空間や建築物が一体となって、水や緑のあふれるゆとりと風格のある空間を創出
- ・ 建築物の低層部では緑にふれあえ、憩える空間を形成

## 賑わい軸の空間形成

- ・ 敷地内の商業施設と一体となった木漏れ日のある緑の空間を創出し、華やかで賑わいある歩行者動線の主軸を形成
- ・ 広幅員の歩道空間をカフェや屋外ギャラリーなどに有効利用し魅力的な空間を演出

## 外周部や敷地内での空間形成

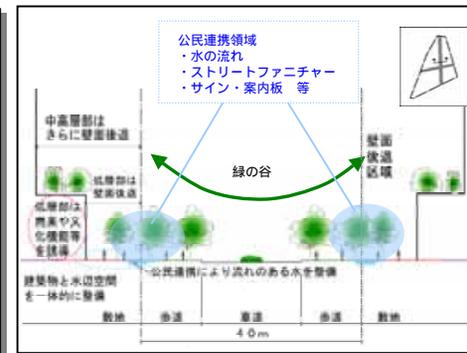
- ・ 外周道路においては、壁面後退による公開空地を創出し、周辺地域と調和の取れた空間を形成
- ・ 地区内を楽しみながら回遊できるように、店舗やギャラリー、ポケットパークなどを連続的に配置した賑わいと界限性を持つヒューマンスケールの歩行者空間を形成（賑わいネットワーク）



## シンボル軸の景観イメージ



## シンボル軸の断面イメージ



## シンボル軸の水のイメージ(例)



## 賑わいネットワークのイメージ



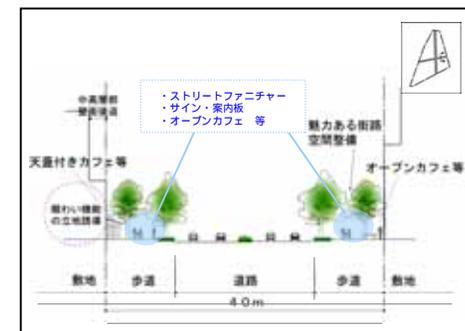
## 外周道路の断面イメージ



## 賑わい軸の景観イメージ



## 賑わい軸の断面イメージ



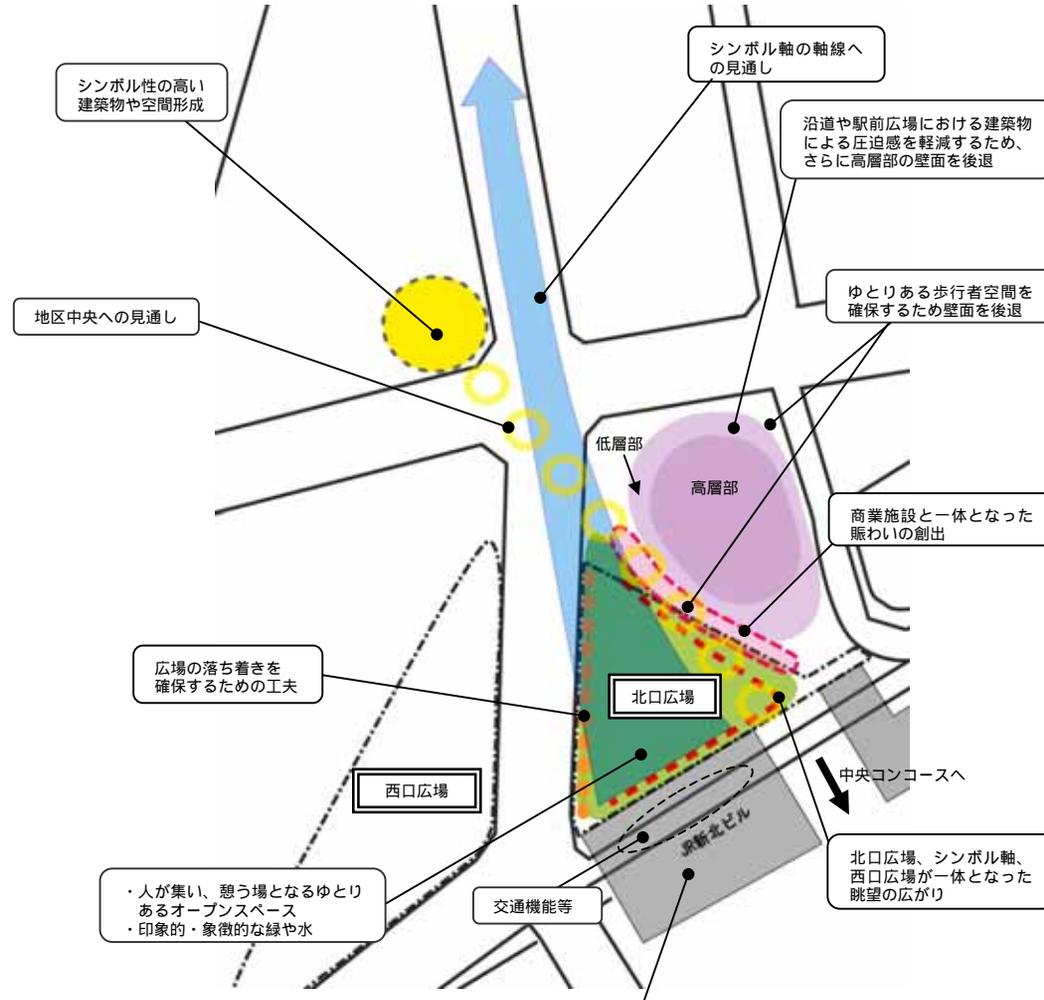
# 駅前広場

大阪の新しい玄関口として、大阪の代表的風景となる高いシンボル性と豊かなアメニティを有する質の高い空間を形成  
 JR新北ビルからのシンボル軸への眺望の広がり確保  
 北口広場は、隣接敷地の開発やJR新北ビルと一体となって、人々が集い、賑わいのある空間をめざす  
 印象的な緑や水の景、光の演出等により、アート性の高い、豊かな表情をもった空間  
 西口広場は、適切な交通機能確保

駅前広場のイメージ(例示)



## 駅前空間の空間形成



JR新北ビル  
イメージパース



# 公民連携によるまちの一元的・一体的管理運営

まちの魅力の向上と維持、効率的なまちの運営・管理などをめざし、公民が連携して、まち全体を一体的にマネジメントする組織を設置

## 《活動例》

### 都市空間・施設マネジメント

- ・ 公民連携により水と緑豊かな質の高い都市環境を創出し、地区全体で効率的・一体的に維持管理
- ・ 歩道・地下通路や民間敷地内の公共的な空間などを一体的に管理するとともに、それらの有効的な活用によるまちの賑わいの創出
- ・ 共同駐車場の管理・運営、まち全体の清掃などを地区全体で一体的に実施
- ・ まち全体の景観についての調整、ルール化による統一感のある景観の維持・向上

### エネルギーマネジメント

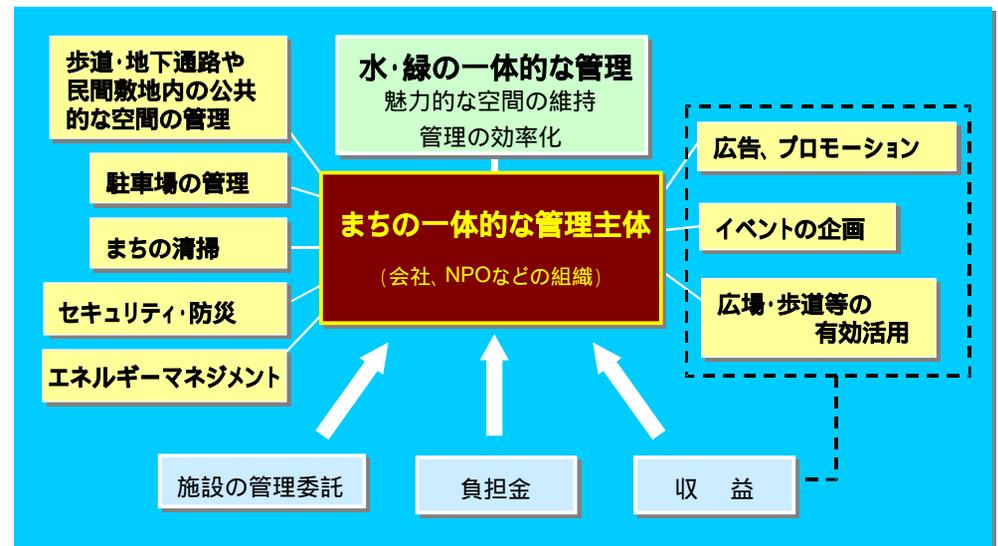
- ・ 地区全体でエネルギーの一括運用による、環境負荷の軽減、省資源化、安価なエネルギーの提供

### 情報発信・プロモーション・案内

- ・ 広告・イベントなどの情報発信によるまちのブランド力の強化やイメージアップ
- ・ 最新のIT技術を活用した案内情報提供システムや地区内で共通のサインシステムの導入

### セキュリティ・防災

- ・ IT技術を駆使した地区独自のセキュリティ強化
- ・ 地区全体での防災対策の実施や各種災害情報の共有化など



## (運営手法の考え方)

例えば、地権者などからの負担金、テナントからの広告料、駐車場の料金等のほか、プロモーション活動や広場等の活用などの収益をより魅力的なまちの運営・管理に活かす自立的な組織をめざす